

検査情報月報8月号 ▶ 概要版 ◀



▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、検査情報月報を発行しています。



2024年8月発行

横浜市におけるインフルエンザの流行(2023年9月～2024年5月)

▶ 横浜市における2023/2024シーズンのインフルエンザの流行は、定点あたり報告数の合計が498.2人であり、過去10年間で最大規模の流行でした。

主な結果 ▶ 2023/2024シーズンはAH3型ウイルス、AH1pdm09ウイルス及びB型ウイルス(ビクトリア系統)が混在し、シーズン開始直後から流行がみられました。病原体定点ウイルス調査におけるウイルス分離・検出数の割合は、**AH3型ウイルス40.9%、AH1pdm09ウイルス20.1%、ビクトリア系統のB型ウイルス39.0%**であり、シーズン前半はAH3型ウイルスが、シーズン後半はB型ウイルス(ビクトリア系統)が流行の主流でした。

簡易専用水道及び小規模受水槽水道の水質事故の検査結果(令和5年度)

▶ 水道水を貯水するために共同住宅などに設置されている水槽(受水槽・高置水槽)には通気管や点検口などがあり、水道水が外気と触れることから外部の影響を受けやすい構造です。また、揚水ポンプや加圧ポンプはゴム様の異物や羽根車の破片などを水道水に混入させてしまうことがあります。令和5年度に検査した水槽やポンプなどに起因する「簡易専用水道」の水質事故事例を2例報告します。

主な結果 ▶ 事例1 「**受水槽**の水面に**油分**が浮遊し、**異物**が浮いている」との連絡を受け、共同住宅(12階建)の受水槽No.1～No.3及び給水末端水の検査を行いました。受水槽No.2の**TOC(水中の有機物量)**は通常の値に比べて高く、この原因については**炭素を含む成分**の存在が推定されましたが、特定には至りませんでした。さらに、**油状物質**の成分を検査しましたが、成分の特定には至りませんでした。また、沈殿していた**黒色異物**は**EPDMゴム**と推定されました。

▶ 事例2 「**受水槽**の水面に**油分**が浮遊している」との連絡を受け、共同住宅(10階建)の受水槽及び給水末端水などの水質検査と異物の検査を行いました。現場調査及び水質検査等から**油状物質**の発生原因の特定には至りませんでした。

横浜市衛生研究所 施設公開のお知らせ 令和6年9月28日(土)9:30～16:00

▶ 昨年に続き、施設公開を開催します。
普段見ることができない**研究所の内部や仕事をご案内**します。
ミニセミナー、パネル展示、体験コーナーもあります。
ぜひお越しください。

